

## 結果概要

敦賀市教育委員会

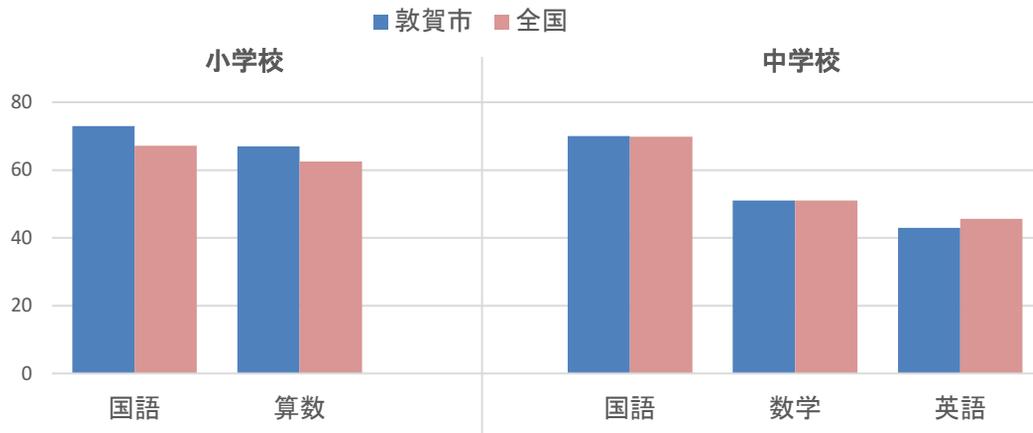
敦賀市教育委員会では、平成28年4月より全市的に「小中一貫教育」を進め、小・中学校の先生方が「つながり」を意識し、学びの「つまずき」をなくすための授業づくりに取り組んできました。家庭・地域の皆様のご協力もいただき、本市の子どもたちは着実に力をつけてきています。今年度の調査結果についてお知らせします。

## 知

## 教科に関する調査の結果

## 本市と全国の平均正答率(%)

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
敦賀市	73	67	70	51	43
全国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6



中学校では4年ぶりに英語を加えた3教科の調査となりました。

小学6年生は、2教科とも平均正答率で全国平均を上回りました。中学3年生は、全国平均とほぼ同じ結果となりました。

- ・令和5年4月18日実施
  - ・小学6年生 国語・算数
  - ・中学3年生 国語・数学・英語
- ※英語「話すこと」調査は、令和5年4月18日～5月26日に実施

[調査問題はこちら](#)

## 【全国学力・学習状況調査について】

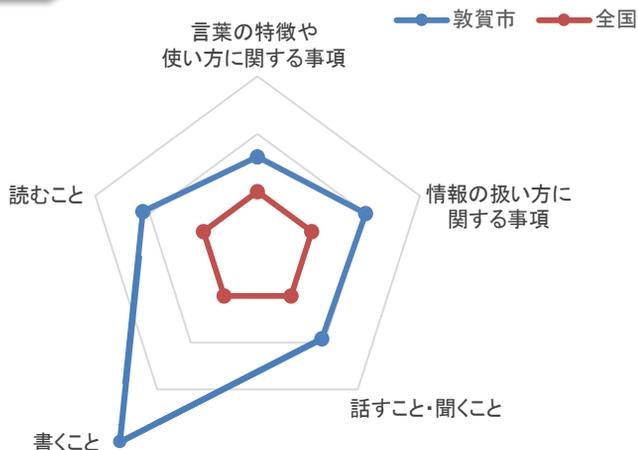
児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、小学6年生・中学3年生を対象に実施されています。

本調査の結果は、学校における教育活動の一側面ではありますが、この結果を今後の授業改善に生かしていきたいと思っております。

## 学習指導要領の内容別の結果(本市と全国)

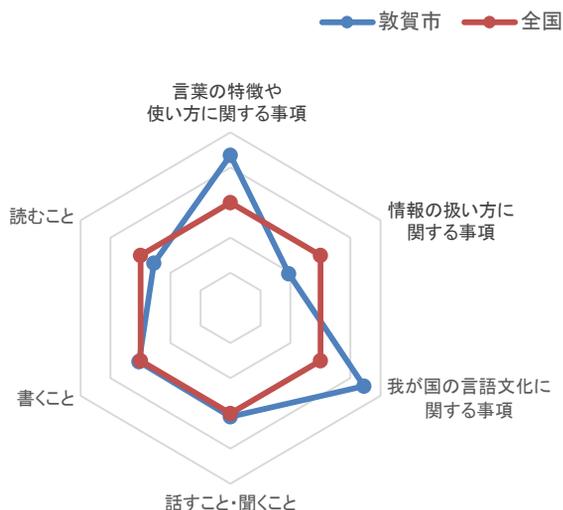
小学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	53.0	50
	情報の扱い方に関する事項	55.0	50
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.6	50
	書くこと	65.7	50
	読むこと	55.6	50



中学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	52.7	50
	情報の扱い方に関する事項	47.9	50
	我が国の言語文化に関する事項	52.9	50
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	50.2	50
	書くこと	50.1	50
	読むこと	49.1	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小中学校ともに、ほぼすべての面で全国平均を上回っています。
- ・特に、小中学校ともに、知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、敦賀市の子どもたちが力をつけていることが分かります。
- ・学校生活のあらゆる場面において、「書く」ことを大切にしてきた成果が表れていると考えられます。小中学校ともに、記述式問題における正答率が全国平均を上回っています。

### ○良好であること ●課題であること (設問別)

#### 【小学校国語】

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること【2一】(次頁参照)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと【1三(1)ウ】
- 日常よく使われる敬語を理解していること【3三】(次頁参照)

#### 【中学校国語】

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと【4一】(次頁参照)
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること【1四】
- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解していること【3三】(次頁参照)

小学校

○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること【2-1】

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちりがフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



主に筋力を高める運動の例



二つの資料の内容の中心となる語や、文の共通性を見つける。

解答のポイント

- 1 運動の効果や種類
2 運動の回数や場所
3 運動の場所や種類
4 運動の効果や回数

【正答】 1

正答率 93.8%

中学校

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと【4-1】

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。

〔原文〕の「線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

〔原文〕

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造と名むいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてゐたり。

【正答】 いひける

正答率 88.8%

解答のポイント

「いったや」という者がいた」という誤答が多く見られることから、「現代仮名遣いに直す」と「現代語にすること」を混同していると考えられる。音読に必要な文語のきまりや訓読みの仕方を知り、古典特有のリズムを通して古典の世界に親しむために、繰り返し音読する機会を設けることも大切。

〈課題〉

小学校

●日常よく使われる敬語を理解していること【3-3】

もう一度…するのは自分であり、相手に「聞く」ことに対する敬語は、謙譲語の「うかがう」となる。
解答のポイント
それぞれの文節の「主語」を捉える。
〇〇さんがとあり、相手が「言う」ことに対する敬語は、尊敬語の「おっしゃった」となる。

4 3 2 1
ア ア ア
ア ア ア
おっしゃった
おっしゃった
おっしゃった
お聞きになって
お聞きになって
うかがって

約30%が3と回答

【正答】 1

敬語の使い方をまとめた「谷さんのノートの一部」の空欄に入る内容として適切なものを選択する。

「谷さんのノートの一部」の「ア」と「イ」に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

正答率 58.7%

中学校

●具体と抽象など情報と情報との関係について理解していること【3-3】

「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。
(ア) ただし、【図1】のように、描かれているものと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」ことになる。(イ) 言ってみれば、なぜなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。



【図1】ザル

文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付ける。分ける箇所として、最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選び、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

【正答】 分ける場所 (ウ)、見出し (例)「判じ絵」の歴史
約30%が、(ウ)以降の内容の共通性に気づいていない

解答のポイント

(ウ)以降の内容に共通する「時代区分」に注目し、抽象的な表現として「歴史」や「起源と広がり」などの見出しを考える。

正答率 56.3%

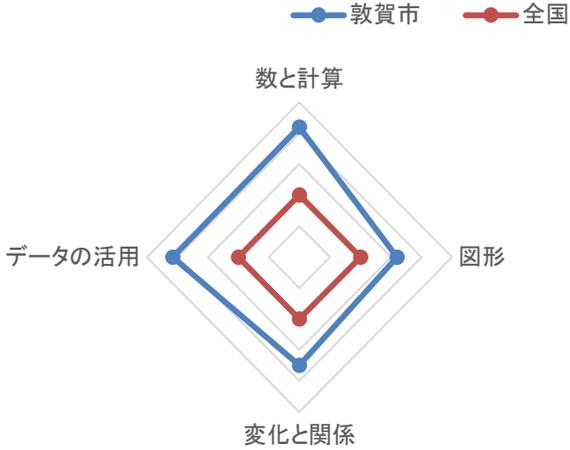
質問紙の結果から、「国語の勉強が好き」、「国語の勉強は大切である」、「国語の授業がよく分かる」と回答する子どもの割合は、小中学校ともに全国を大きく上回っています。敦賀市の子どもたちが国語に対して興味・関心を抱き、主体的に学習に取り組むことで、よい結果につながっていると考えられます。今後も、実生活や将来につながる授業づくりを継続していきます。

# 算数・数学科

## 学習指導要領の領域別の結果(本市と全国)

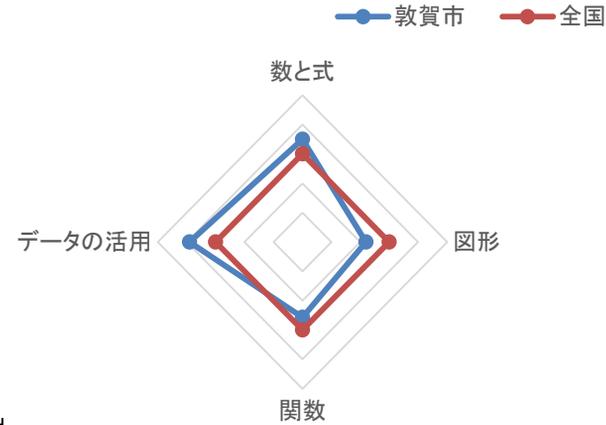
小学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と計算	54.4	50
図形	52.4	50
変化と関係	53.0	50
データの活用	54.3	50



中学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と式	51.5	50
図形	47.6	50
関数	48.7	50
データの活用	52.7	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校では、すべての領域で全国平均を上回っています。特に、「数と計算」、「データの活用」の領域において、全国を大きく上回る結果となっています。
- ・中学校では、「数と式」、「データの活用」の領域において、全国を上回る結果となっています。「図形」と「関数」において、全国平均をわずかに下回りました。

## ○良好であること ●課題であること (設問別)

**【小学校算数】**

- 伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること **【1(1)】** (次頁参照)
- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること **【3(3)】**
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること **【2(4)】** (次頁参照)

**【中学校数学】**

- 数と整式の乗法の計算をすること **【2】** (次頁参照)
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること **【7(2)】**
- 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されていることを理解していること **【3】** (次頁参照)

# 〈良好〉

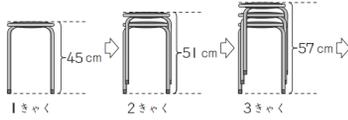
## 小学校

○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること 【1(1)】

**5脚の椅子を重ねたときの高さを求める。** 正答率 97.7%

1きやくのいすの高さは、45 cm です。

下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (きやく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にはまる数を書きましょう。 【正答】 69

### 解答のポイント

表に整理し、椅子の数が1脚ずつ増えると、高さが6cmずつ高くなるという規則性に着目する。

## 中学校

○数と整式の乗法の計算をすること 【2】

文字を用いた式の四則計算をする。

正答率 89.0%

$12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$  を計算しなさい。

【正答】  $3x+2y$

$$12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$$

### 解答のポイント

分配法則により、 $12 \times \frac{x}{4} + 12 \times \frac{y}{6}$  として計算する。

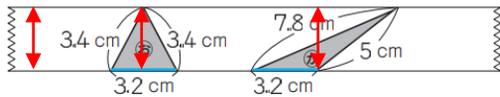
# 〈課題〉

## 小学校

●高さが示されていない三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること 【2(4)】

テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。 正答率 22.4%

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ㊸の面積のほうが大きい。
- ㊹の面積のほうが大きい。
- ㊸と㊹の面積は等しい。
- ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

約25%が、高さについて具体的な長さが示されていないので比べられないとして、4を回答

【正答】 3 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求められる。㊸と㊹の底辺は、どちらも3.2cmなので等しい。㊸と㊹の高さは、テープの幅がどこも同じ長さなので等しい。だから㊸と㊹の面積は等しい。

### 解答のポイント

- 二つの三角形の底辺は3.2cmで等しい。
- 二つの三角形の高さが示されていないが、同じである。

## 中学校

●空間における平面が同一直線上にない3点で決定されていることを理解していること 【3】

空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ。 正答率 26.1%

空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

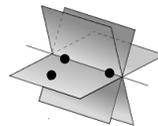
約33%が、イと回答

約31%が、ウと回答

### 解答のポイント

【正答】 エ

空間における平面は、同一直線上にない3点で決定される



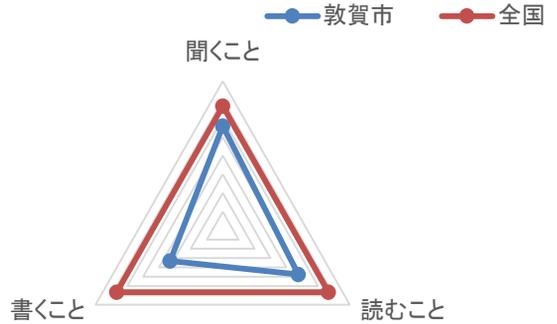
本市の小中学校では、コンテスト等で基礎的な内容を定着させたり、友達と考えを伝え合うことで学びを深めたりすることを大切にしており、安定した力をつけています。

一方で、図形分野において「高さが具体的に示されていない図形から課題解決に必要な情報を見出す」ことや、「図形の性質を空間における直線や平面の位置関係から捉える」ことに課題が見られます。

今後は、身のまわりにある事象から平面が1つに決まる条件を体験的に見出しその理由を話し合う活動や、デジタル教材を効果的に活用する機会をさらに増やしていきます。

## 学習指導要領の領域別の結果(本市と全国)

中学校	学習指導要領の領域	敦賀市	全国
	聞くこと	46.8	50
	読むこと	44.3	50
	書くこと	39.9	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・すべての領域で、全国平均を下回っています。特に、「書くこと」の領域で全国平均を大きく下回る結果となっています。
- ・「無解答率」が全国平均より低く、回答への意欲が高いという特徴が見られます。

## ○良好であること ●課題であること (設問別)

【中学校英語】

- 情報を正確に聞き取ること 【1(1)】 (下段参照)
- 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと 【9(2)】
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと 【9(1)②】 (下段参照)

### 〈良好〉

○情報を正確に聞き取ること 【1(1)】

ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。 **正答率 77.2%**

【読まれた英文】  
Look at this picture. There are three cats. You can see a cat **under the desk**. And the other cats are **on the bed**. They are **sleeping**.

**解答のポイント**  
「机の下に猫がいる」  
「他の猫はベッドの上で寝ている」

【正答】 2

### 〈課題〉

●疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと 【9(1)②】

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。 **正答率 9.1%**

＜友達同士の会話＞

A: Oh, you have a new watch!

B: Yes. I got it **yesterday**.

A: ( buy ) the watch?

B: **At a department store** near the station.

【正答】

(例) **Where did you buy**

- 解答のポイント** 約38%が、do you buy や you buy などで回答
- ・直後のBの会話で、**At a department store** とあることから、場所を尋ねる疑問詞 **where** を用いて疑問文を書く。
  - ・直前のBの会話で、**yesterday** とあることから、時制を**過去形**と判断し「do you」ではなく「**did you**」と表記する。

質問紙調査より、前年度までの授業で、「自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動が行われていた」、「自分の気持ちを英語で書く活動が行われていた」、「英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を発表する活動が行われていた」と回答した割合が、いずれも全国平均を下回っています。今後は、各中学校で、子どもたちが英語で自分の気持ちや考えを伝え合うことができるような場面を意識した授業に取り組んでいきます。

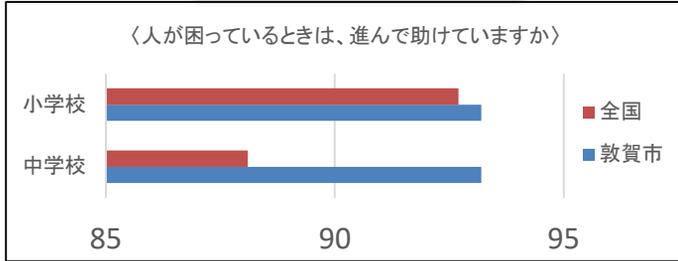
敦賀市の子どもたちは、外国についての関心が高く、「日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい」と思う割合が全国と比べて、8.6%高くなっています。ALTとの交流だけではなく、タブレット端末も効果的に活用し、多様なつながりの中で子どもたち自身が「使える実感」が持てる英語の授業を目指します。

※ 各グラフの値は、肯定的な回答の割合を表しています

### 〈良好〉

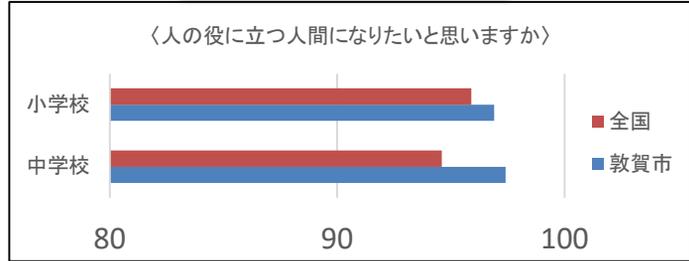
#### 思いやり

〈人が困っているときは、進んで助けていますか〉



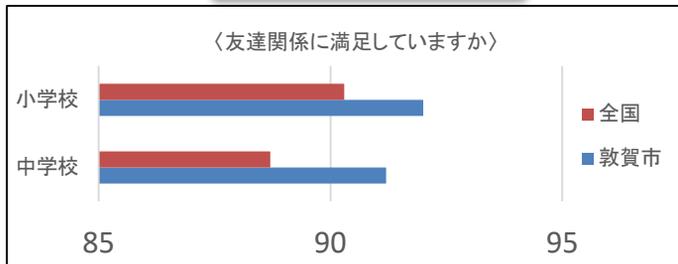
#### 自己有用感

〈人の役に立つ人間になりたいと思いますか〉



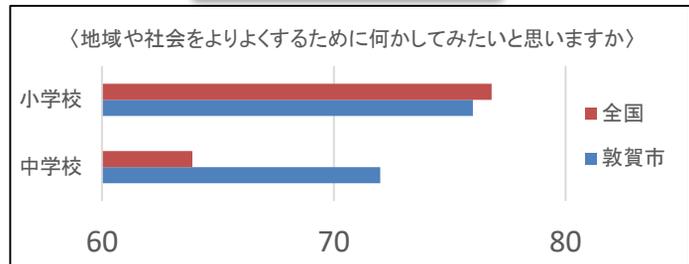
#### 他者との関わり

〈友達関係に満足していますか〉



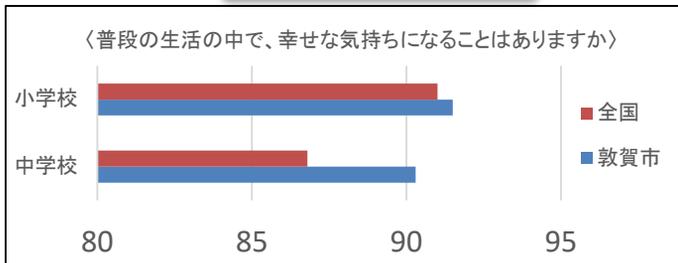
#### 地域や社会との関わり

〈地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか〉



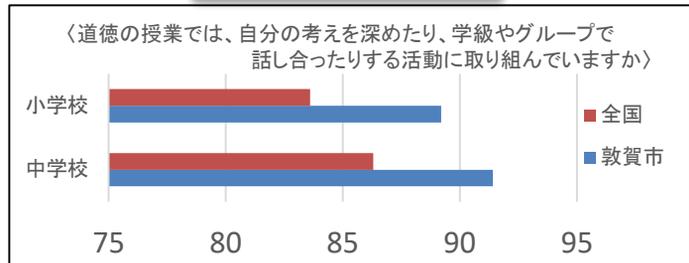
#### ウェルビーイング※

〈普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか〉



#### 自他を思いやる道徳心

〈道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか〉



敦賀市の子どもたちは、コロナ禍の生活の中でも、「人道のまち敦賀」の市民として、他者に対する思いやりや地域・社会に貢献したいという気持ちが十分に育っていることがうかがえます。変化の激しい社会を生きていく上で、他の者とうまく関わりながら、幸福感を実感できる人生を歩んでいけるよう、今後も家庭・学校・地域が一体となって見守り支えていきます。

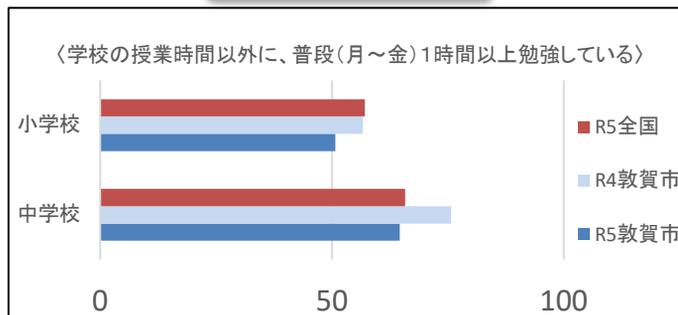
※ウェルビーイングとは

身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味し、直訳すると「幸福」「健康」という意味があります。

### 〈課題〉

#### 学習習慣

〈学校の授業時間以外に、普段(月～金)1時間以上勉強している〉



「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」ことについて、肯定的な回答をしている割合は、小学校95.0% (全国比+2.0%)、中学校94.8% (同比+5.9%)となっています。

今後は、子どもたち自身で主体的に学習を進めることのできる習慣が身に付くよう、タブレット端末を活用した家庭学習の在り方についても検討していきます。

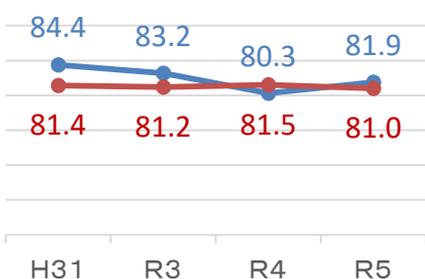
● 敦賀市 ● 全国

### 生活習慣【小学校】 ※R2は未実施

〈毎日朝食を食べている〉



〈毎日同じくらいの時刻に寝ている〉



〈毎日同じくらいの時刻に起きている〉

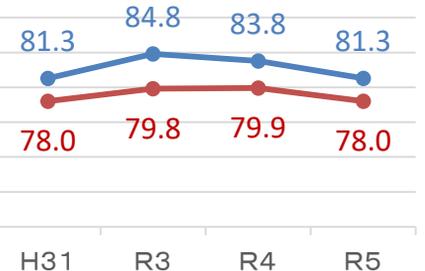


### 生活習慣【中学校】 ※R2は未実施

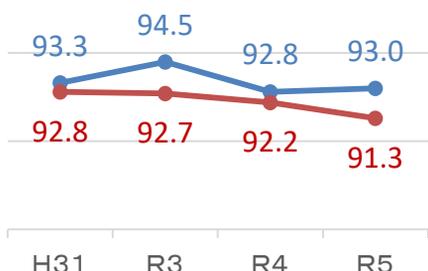
〈毎日朝食を食べている〉



〈毎日同じくらいの時刻に寝ている〉

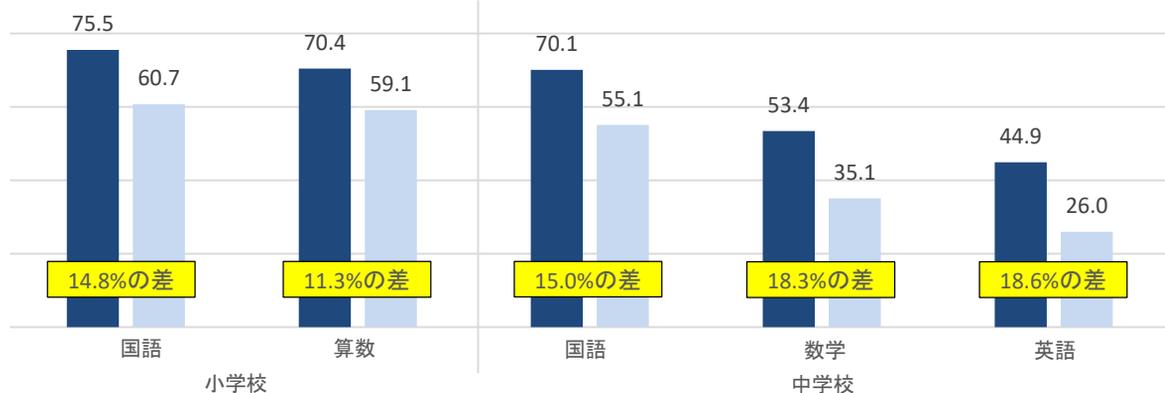


〈毎日同じくらいの時刻に起きている〉



### 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」への回答と、正答率の関係

■ 寝ている □ 寝ていない



「就寝時刻(睡眠)」と「学力」には相関関係があり、「就寝時刻(睡眠)」が安定している子どもは「学力」が高い傾向が見られます。

このように、生活習慣はすべての土台であり、心身の健康を支えるものです。敦賀の子どもたちの基本的な生活習慣は、以前から高い水準にあり、ご家庭の支えにより、その水準を保っています。

今後も、「家族の時間」を大切に、子どもたちにとって安らぎのある家庭での生活を大切にしていきたいと思っています。